

福島第一原子力発電所の状況

2015年7月31日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/31 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	27.5	1.0 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	33.6	5.43 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.1 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m ³ /h	31.1	0.26 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (7/31 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.5
2号機	循環冷却システム	運転中	32.3
3号機	循環冷却システム	運転中	27.7
4号機	循環冷却システム	運転中	26.1

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘイドラジンの注入を適宜実施。

[3号機]・現在、SFP内の瓦礫撤去作業を実施しているが、8/2 にSFP内から燃料交換機(以下、「FHM」という。)本体を撤去する作業を実施予定。今回撤去するFHM本体には油を内包している付属機器があるため、万が一当該作業時に残存している油が漏れ、SFP代替冷却系へ混入するのを防止する目的で、8/2 5:00～17:00 の間で冷却を停止。3号機SFP水温度は、7/31、11時現在で27.7 であり、停止時のSFP水温度上昇率は0.102 /hで、停止中のSFP水温度上昇は最大で約1.3 と評価しており、運転上の制限値65 に対して余裕があることから、SFP水温度の管理上の問題はない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/30 18:59 ~ 移送実施中

[1～4号機]・2015/7/30 10:00～ 各建屋(タービン建屋、原子炉建屋、廃棄物処理建屋)への新たな滞留水移送装置における系統性能試験(通水試験)を実施中。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/31 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～2015/7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/2/24 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業開始。
- 6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約 4,500m³の除去完了。
- 7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 6/12～ 当該作業に伴う海水配管トレンチ内の滞留水については、塩分濃度等を考慮しつつタービン建屋へ排水しているが、タービン建屋滞留水の塩分濃度が上昇した場合、汚染水処理に影響を及ぼすことが考えられるため、一時貯留先として1号機復水貯蔵タンク（以下、「1号機CST」という。）へ滞留水の受け入れを行う。その事前準備として、受け入れ可能な容量を確保する目的で、1号機CSTに貯留されている汚染水を1号機廃棄物処理建屋へ移送を行う。
- 7/29 立坑Bから3号機タービン建屋への移送を実施したが、移送が終了しなかった為、7/30に残っている滞留水を移送し、トレンチ内滞留水除去を完了する予定。
- 7/30 立坑Bから3号機タービン建屋への移送を実施。トレンチ内滞留水除去が完了。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・2015年6月に実施した地下水バイパス一時貯留タンクからの排水について、排水前に採取した一時貯留タンク水の加重平均サンプル分析結果は、当社及び第三者機関の分析結果については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 7/17]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による詳細分析結果[採取日 7/1]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

【1～3号機放水路の状況】

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

- < K排水路排水口のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き、監視を継続していく。

【H4, H6 エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4 エリア周辺のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6 エリア周辺のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。